

新潟市マンガ・アニメ情報館 及び 新潟市マンガの家 令和6年度事業計画書

令和6年度の重点目標

- 情報館・マンガの家両館合わせて50,000人以上を集客する。
- 情報館・マンガの家共にスペースの新しい利用方法を企画・実行し、歳入や自主事業の増収を図る。

【施設運営】新潟市マンガ・アニメ情報館

① 常設展示室

各所稼働の維持管理強化と新規の取り組みによる新たな価値向上を目指す。

- 各展示コーナーのモニター、システムの老朽化対策。
不具合機器のメンテナンス強化、随時機器代替作業を行う。
- 「にいがたのマンガ・アニメクリエイター」のデータ更新。
当館と文化政策課にて更新内容を確認し更新作業を行う。
更新作業予定：10月～12月
- 企画展を開催していない期間を利用して施設の外部利用機会を設け、施設の新しい価値を創出する。
主にアニメスタジオ、コンテンツ開発企業、学校を中心に誘致し、ネットワークづくり、教育支援に寄与するとともに入場料収入増の効果も狙う。
実施予定：8月) Gugenka 他3回
- 小中学校向け団体誘致プランの作成
同分野の職業啓蒙としてキャリア教育施設と小中学校などの今後はより市外、県外などの学校様に繋がれるよう旅行企画会社などへのアピールを増やし誘客に繋げる。
進行予定：4月～6月) 企画内容検討 7月～8月) デザイン、広報
- 海外客への対応強化
 - ・掲示POPに可能な限り英訳表記を入れる。

② 企画展示室

- マンガ、アニメのコアなファンに向けた作品の他、年齢層や嗜好を問わず広く認知された作品などを織り交ぜ、より広い市民の方においでいただけるような展覧会スケジュールを構築する。令和6年度は主に下記6本を予定。本年度は特に新潟ゆかりの作家関連を多く開催する。

○リコリス・リコイル展

令和6年4月6日～5月6日（31日間）

※同作の世界観を立体で表現。フォトスポット多数展示。

○赤坂アカの世界展

令和6年5月11日～6月30日（51日間）

※赤坂アカ氏は本県佐渡市出身作家。世界的大ヒット作「推しの子」原作者。

他4回

◀常設展ピックアップコーナーでのミニ展示も計画▶

○「しなのんちのいくる」仲曾良ハミの世界展（仮）

令和6年6月頃開催予定

※新潟市出身在住のマンガ家。アニメ化してほしいマンガランキング2024投票で1位を獲得。

【施設運営】新潟市マンガの家

① 常設展示コーナー

各所稼働の維持管理強化と新規の取り組みによる新たなる価値向上を目指す。

- 蔵書メンテナンス強化と新潟ゆかりの作家、作品の購入を随時進める。

■蔵書コーナー『おすすめ本棚』

開志専門職大学アニメ・マンガ学部学生による推薦作品を並べた本棚を作成。PRするPOPなども作成し掲示する。

入替実施)年4回

■創作系同人誌即売会コミティアとの連携強化

同即売会の新潟開催に合わせて同人誌の読書会を実施する。誘客と同時に創作活動を支援する施設というコンセプトをPRする。

実施予定) 4月 12月

② 企画展示コーナー

■地域資源を活用した展示を検討中のものも含め年1回以上開催する。

○こんにちは こりすのぽっこちゃん 太田じろうの世界展

令和6年3月22日～5月21日まで開催。

○マンガの家シリーズ企画展『オシエシ（推し絵師）！』

昨年度から継続実施。新潟市在住の若手クリエイターを発掘し紹介するミニ展示会。今年度はマンガ家も含め候補を選定する。

※「しなのんちのいくる」仲曾良ハミの世界展（仮）を6月に予定。

○『にいがたマンガ大賞作品展』

令和7年2月～3月

※同賞入賞作品や作家応援イラストなど展示。部門ごとに展示入替する。

○地域イベント関連展示

・10月「古町どんどん」

※イベントポスターやPRマンガの掲示などを検討。

実施進行：7月) 内容検討 8月) 制作 10月) 実施

・3月「新潟国際アニメーション映画祭」

※イベントポスターやPRマンガの掲示などを検討。

実施進行：11月) 内容検討 1月) 制作 3月) 実施

③ 制作・体験プログラムの実施

■同分野に限らず、広く創作支援につながる体験内容を下記のように新規企画しメニューを増やす。

○開志専門職大学実習生によるオリジナル制作講座

※実習生が企画から運営を担当。内容の精査や指導などを行う。

実施) 8月 12月

○『本をつくろう』講座

実施) 12月

※コミティア、ガタケットなどの同人誌即売会参加無料招待を含め訴求する。

○『小説・マンガ原作を書こう』講座

実施) 1月

○『高齢者向け絵手紙講座』

高齢者施設等へのリサーチ・広報) 9月~10月 実施) 12月

○『にいがたマンガ大賞こどもマンガ講座』

※昨年度から実施。参加者から同賞応募に繋げる連続講座。計6回開催。

検討) 4月~6月 広報) 6月 実施) 7月~8月

情報館及びマンガの家 連携事業

■情報館開催企画展との連携企画を主に展開し両館の施設利用促進と街の回遊に効果を上げる。

○「しなのちのいくる」仲曾良ハミの世界展(仮)

・両館でミニ展示を行い、両館を巡った方にノベルティを進呈。

他1回

他施設連携事業

市内外他施設や市内学校・文化施設との連携を積極的に進め、両館の認知を拡大する。

■ラブラ万代『出張缶バッジづくり体験』

実施) 4月27日、28日

■新津美術館『出前美術館』

実施予定) 7月、9月

※市内小学校でのマンガ制作講座講師派遣

■三条市立図書館まちやま『出張版マンガのいっぽ』

実施予定) 5月、8月、10月

※マンガ制作講座講師派遣

広報・PR活動

■同分野ファンとの親和性が高いデジタル広告メディア(Google、ツイッター、インスタなど)を積極的に活用し、紙媒体の告知物を減らすことで資源の効率化を図る。

・情報館企画展ごと随時実施

■BSN新潟放送主催声優トークイベントへの協力を通じて館の認知を拡大する。

現在年度内開催企画進行中。

※企画作成、広報デザインなどで協力。

■アウトリーチの積極展開。小中学校や他施設との連携を深める。

■コロナ明け海外渡航解禁に合わせ、県、市の観光課と連携し海外YouTuber取材の誘致及び機会を増やす。

■地域企業などとコラボしたキャンペーン、商品開発を進め話題を創出し、メディア掲出機会を増加させる。

■施設アンケートの中心をQRコード、Google Form などデジタルメディアを使ったものに切り替えスムーズなアンケート誘導を行い、即時運営に反映する。

両館実施開始) 5月～

自主事業

現状のミュージアムショップ、展覧会物販事業に加え、各企画展やイベントに合わせた商品を開発し話題性と利益の向上を図る。また、商品の開発には市内事業者との連携を基本とする。

① 情報館

■企画展開催時に合わせて新潟限定グッズを制作する。

年1回

■地元産業を同時にアピールできる商品を展開する。

・三条市の工具メーカーとのタイアップを予定。

② マンガの家

■マンガ制作画材セットの開発、販売

7月、8月のにいがたマンガ大賞こどもマンガ講座に合わせ販売する。

■有料の制作講座を検討する。

上記販売画材とセットにした講座を企画。